

石クリ通信

3月号

東京本屋めぐり

事務長 石川 都

私は東京が好きである。東京生まれなので当たり前かもしれないが、東京を想うと胸が高鳴る。結婚後住んだ筑波では、特に黄昏時に常磐線を見ると(ノスタルジーに駆られ)そのまま乗って東京へ帰りたくなって困った。今もほぼ毎月(年節的に)家族や恩師の見舞いのため東京に行くが、車で一時間半ほどなので、行くのはいつも車である。好きな時に好きなだけ物を積んで行ける上、元来運転が好きなので、高速に入ると気分が高揚し、わくわくする。東京では用が終わると、大好きな本屋めぐりをする。池袋だけでも、三省堂からジュンク堂、旭屋書店など、至近距離に大型書店が目白押しなので、日立にはあまりない人文系の専門書を漁り歩く。ただ本は重いので、一回に十冊まで決めていく。今はネットでも本は翌日届くが、書店でいろいろな本の背表紙を見ながら、立ち読みしつつ、買う本を厳選できるのは、本屋めぐりの醍醐味である。最近(泊まる日は)都会の夜景を眺めつつ、ゆっくりワインを飲みながら買った本をばらばらめくるのが、最近の私の至福のひとつときである。

新橋デビュー☆

事務 久保 直子

先月、東京で一泊した時のこと。せっかくの機会なので、夜の東京を満喫しよう!と新橋に呑みに行きました☆ 新橋は、よく酔っ払ったオジさんが街頭インタビューされている場所ですが、私にとっては憧れの街。ガード下や駅前商店街にみっしりと並ぶ飲み屋さん。テンションが上がります。どの店に入ろうか、目を輝かせながら駅周辺を歩き、とある焼き鳥屋さんで呑んで来ました☆ 翌日も予定があったので早々に切り上げましたが、また時間がある時に、今度はハシゴして回りたいと思います。

デビュー

看護師 澤田 彰子

今さらですが、携帯電話をTomaからスマートフォンにかえました。今まで電話とメールしか使っていなかった料金も高くなるし、どうせ使わないからと思っていたのですが、夫が内緒で新しいiPhoneにしたのでなんとなくムシャクシャして、それなら私も・・・的な軽い感じでデビューしてみました。しかし機械音痴の私に簡単に使いこなせるはずはなく、息子に何度も教わりながら使っています。まだ20日ほどですが便利機能がたくさんあるので上手に使いこなしてみたいと思います。

KさんのCD

院長 石川 悟

Kさんとは十年來のおつきあいになる。立派なひげを蓄えたジェントルマンである。定年前にどんな仕事をしてきたか定かではない。音響の機械について詳しいので、たぶんエンジニアだろうと思う。小生が、クラシック音楽が好き、というのを知って、いっごうからかFM放送で流れたクラシック(主に室内楽)をCDに焼いて持参してくれる。デジタル機器でやるらしく、非常に音響がいい。せっかくなので持ってきたのに、すでにこちらで購入済みのCDもあったので、市販されていない、海外の音楽祭のライブの放送を焼いてくれるとありがたい、とわがままを言ったたら、その通り定期的にCDを持って来てくれる。診療が終わって、カルテの整理をしながら、誰もいないクリニックでCDを聴く。立派とは言えないオーディオ機器だが、ライブの持つ迫力がすばらしい。録音のためのスタジオ演奏は、ミスが少なく、楽器から出る雑音などをできるだけ排除したものに、会場での実況録音は、演奏家が観客を意識して、「ノリ」のある演奏が多く、気迫が伝わってくる。大きな拍手の音が聞こえると、自分も会場で応援している気になる。

キッチンに潜むカボチャ

事務 森 絵里子

院内にある食器用スポンジです。視界に入るといつもカボチャの煮物を思い出してしまいます。これが昼休み前だと自分が空腹だった事まで思い出してしまうので厄介です。スポンジが水分を含んでいる時は、煮汁がよくしみ込んできつと美味しいだろうなと思いつながら働いています。たまに食べたくなる祖母の作るカボチャの煮物は、ひき肉入りで甘めの、私の大好物です。あくカボチャ食べたいく記事を書きながら空腹と闘っています。



春の訪れ

看護助手 柴田 さち子

少しずつ春の足音が聞こえる時期になりましたね。久しぶりに兄・姉達と日帰り温泉に行きました。この温泉は年に四〜五回行くのですが、お湯が全国でもトップのアルカリ度を誇る名湯で、さらに山の中で静かということもあり、身も心も癒されます。最近は年齢関係なく、若い人も温泉が好きなようですね。温泉最高!



最寄りの癒され場は神峰動物園 薬剤師 石川 恵

暑いくらいの日の翌日は雪だったり、世も末のような天候ですが、皆様がかがお過ごしでしょうか。私は当然のように世も末の体調です。ところでみなさん動物はお好きですか? 私は無類の動物好きです。そしてどちらかというと「何考えてるんだろ?」と想像させるやる気のなさそうな生物が好きです。そんな私の最近のマイブームアニメ「チベットスナギツネ」。私は漫画でその存在を知ったのですが、最近ではカルピスのCMでかなり話題のようです。目を覆す彼らに久々の衝撃の一目惚れ。しかし珍しい動物らしく、生で見られないのが残念。



洗濯機が壊れた!

看護師 高山 早苗

先日わが家の洗濯機が壊れました。2011年2月に購入し、たった1ヶ月後の3月にあの震災を経験しても無事でした。しかし最近、脱水の時に音がたがたと大型ダンブカーが走り去るような音と揺れがものすごく、主人と2人がかりで抑え込みをしたり、高さを調節したりしても変わらず。マンションなので音が響くことがとてもストレスでした。やっと修理をしてもらったのですが、その際業者の方と話をしたら目からうろこの時間でした。ドラム式の洗濯機はタオル類がごわごわしてしまうので柔軟剤を多めに入れていたのですが逆に少ない方がいいとか、乾燥を重要視するならドラム式、汚れ落としを重要視するなら縦型などなどたくさんの情報を得ることができました。修理は主婦の私にとってお財布に痛い出費でしたが、これからの生活に十分役立つことばかりでよかったなあと思いました。時期を同じくしてパソコンも壊れました。これって主人の厄年のせい?

なくてはならぬもの

通信・ウェブ担当 石川 香

私の母方の祖母宅には、電子レンジがありませんでした。ご飯は食べる分だけ炊き、煮物やお味噌汁は片手鍋で温められます。冷凍したり弁当を買ったりする習慣がなかったのか、必要なかったようです。最近「断捨離シンブル」という生き方が流行っていて、先日は炊飯器を持たず鍋でご飯を炊く夫婦がテレビで紹介されていました。百均では工夫された様々な商品が安価で並んでいます。なくては生活できないかと考えると、人生に本当に必要なものはさほど多くないと思います。